



地域とつながるFFG連携プロジェクト

FFGの幅広いネットワークを活かした地域創生の具体的な事例をご紹介します。

”ワーケーション”事業

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。地方創生を進める上で、地域の課題や資源など地域特性を把握し、オーダーメイドな戦略で企画立案し実践することを目指しています。

今回ご紹介する吉岐市のワーケーション事業は、主に交流人口増加を目的とした観光振興事業であり、地方創生の重要な取り組みとして積極的に推進しているところです。そうした中、今年に入り新型コロナウイルスの影響を受け、オフィスの大都市一極集中から地方分散への流れが起きつつあります。私たちはこれを機に、地方都市のサテライトオフィス誘致による地域の雇用創出や移住定住に繋げていく、都市型の”トライアルワーケーション”についても今後展開していきたいと思えます。



事例紹介

吉岐市のワーケーション 事業について

吉岐市は、2015年度より、住民自らが地域社会発展と自分たちの未来を自分たちで創る「吉岐なみらい創りプロジェクト」を官民協業で実施しています。その一環として、国特別史跡に指定されている「原の辻遺跡」内にある「遺跡発掘用の収納倉庫」をリノベーションし、「テレワークセンターFREEM ILL STUDIO」を開設いたしました。東京や大阪、福岡等の企業7社がサテライトオフィスを置き、年間3,500人が利用しており、着実に成果をあげています。

また、美しい自然・豊かな食べ物・様々な観光資源が充実していることから、ワーケーションに持つこの環境が整っています。交流人口増加や関係人口増加等地域活性化の手段としてワーケーションに力を入れていく方針を打ち出しています。

自然と“実る”吉岐のワーケーション



吉岐の美しい自然、豊かな食べ物、暮らす人々、歴史。たくさんの宝に溢れる吉岐の日常は、来訪者にとっては非日常。それらを「結び」、「えん」となった時に感じる何か。あたたかさ、楽しさ、美味しさ、静かさ。そして、気づき。吉岐滞在中のそうした時間や体験が、来訪者とその大切な人達の成長（実り）につながっていくこと。吉岐の人にとっても実りとなること。それが、「吉岐なワーケーション」の提供価値です。吉岐は、そうした「えん」と「結び」を育みます。

働く（ワーク）

テレワークセンター（フリーウィルスタジオ）



遺跡の中にある平屋施設



働きやすい設備の整った coworking space
ワーケーションのデジタルセンターの役割も兼ねる



リゾート型テレワークセンター「フリーウィルスタジオ」ネット環境はもちろん、短期滞在型シェアハウスも完備

木漏れ日の下、自然から生まれる音をBGMに、テントの中で会議

島中どこでもワーク



好きな場所でどこでも。イスなどは無料貸し出し



- ・島のどこでも仕事ができるように「mobile outdoor office」サービスを展開
- ・「モバイルWiFi」「モバイルバッテリー」「椅子」「テーブル」「タープ」等をレンタル
- ・好きな場所で仕事ができるので効率も上がり、ユニークな発想も生まれるかも



遊ぶ (バケーション)

焚き火トーク

(テレワークセンター側で焚き火トーク)



焚き火を囲みながらコーヒーを飲んだり、様々なコミュニケーションを図る場に

言葉を発しなくても、同じ炎を囲んでいるだけで何か通じ合えるようなそんな「焚き火」が壱岐版ワーケーションのキーワードである“えん=円・縁”の象徴 定期的に「焚き火時間」を設け、リラックスしながら家族同士、ワーカー同士、地元の皆さんと同じ時間を過ごすことでお互いを知り、共感を得たり認め合うことで、精神的な充足感を得る



壱岐イルカパーク&リゾート



家族で気軽に壱岐の自然を満喫したい! そんな方にお勧めなのが「壱岐イルカパーク&リゾート」のプログラム
イルカと触れ合う・泳ぐことからトレーナー体験まで、イルカのことを学べてイルカのが好きになる各種体験プログラムを準備



アウトドア体験



島を訪れると、一番に目に入るのが美しい自然
お勧めは船釣り! 壱岐の船釣りの凄いところはなにも準備が必要なく、「釣りを楽しみたい」という気持ちだけ持っていけばOK 海のプロとの船釣りなんてめったにできない体験
船上での釣り体験は、非日常感はもちろん、新しい価値観を見出せるかも!



学ぶ (ラーニング・ソーシャル)

壱岐市いきっこ留学 (短期留学体験版)

壱岐市いきっこ留学制度

小・中学生向け
離島留学制度

短期留学
体験版

補助金
付き

自然豊かな壱岐島で、のびのびと成長できる1年間、小・中学生向けの離島留学がスタートしました。



- ・多感な小・中学生の時期に、豊かな自然の中でのびのびと過ごすことによって感性を磨き、子どもの自立心を養い、考えて行動する自制心や、島の子どもたちとの関わりの中で、周りとの協調性を育てる
- ・里親との日々のコミュニケーションで優しさや思いやりの心も育まれる

自然豊かな壱岐島で、新たな自分を発見!

SDGsを体感



九州地区から全国で最初にSDGs未来都市に選定された壱岐市で、SDGsについて学ぶセミナーを受講できる。また、現在、東京大学とSDGsを学ぶコンテンツも開発中

壱岐なみらい研究所



2019年、壱岐市と慶應義塾大学SFC研究所が「地域創生に関する研究開発の連携協力協定」を締結

市民対話会



- ・壱岐の未来はこうあって欲しい! など、様々なことを話し合う場
- ・参加者自由、出入りも自由。高校生、社会人、様々な人が交流

歩行ラリー (テレワークセンターで1日版体験)



壱岐の自然を生かした、気づきを得られるコンテンツ



この事業実現に向けてFFG営業統括部地方創生推進グループ（福岡銀行地域共創部）とFFGビジネスコンサルティングが全面的に伴走支援を行っております。

昨年度は、アウトドアを通じて地方創生を行っているスノーピーク社と連携して、吉岐ならではのワークショップを検討するワークショップを開催しました。さらには、在京企業や福岡の企業に対してのサウンディング等マーケット調査を行い、今後の具体的なアクションプラン策定に繋がっています。例えば、自身の成長や気付きに繋がる社会活動や体験へのニーズがあることを理解し、吉岐ならではの「学び」を付加

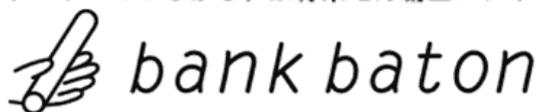
価値として付け足すことでコンテンツを充実させました。

そしてこれまでの取り組みを踏まえ今年度は「ワークショップモニターツアー」の開催を計画しております。

FFGは、地域と共に未来を創る金融グループとして、地域課題に対する最適解を探す支援をしています。その一つがワークショップ事業であり、事業を成功させるため、テストマーケティングやトライアルは重要なステップと考えています。「働く（テレワーク実施・域内どこでもワーク等）」「遊ぶ（域内観光スポットめぐり・動物等とのふれあい体験・キャンプ体験）」「学ぶ（お子様の短期留学・SDGsの教育コンテンツ）」など、ワークショップ普及に向けた取り組みを伴走支援して、ゆくゆくは移住定住に繋がっていきます。

また、地域の魅力とそれを支える人々のストーリーを、銀行系地方創生メディア“bank baton”で紹介していきます。

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア



bank batonを運営するふくおかフィナンシャルグループはグループ銀行や関連会社を含む幅広いネットワークを活かし、地域経済の活性化と地域課題の解決に向けて積極的に取り組んでいます。そんな私たちが、みなさんにお伝えしたいこと。それは、「地域を元気にする事業やサービスは、ある日突然に生まれるものではない」ということ。日々の暮らしの中で、「困ったことを解決したい！」「もっと良くしたい！」という意思を持った「誰か」の想い。その想いがバトンのように受け継がれ、カタチにする人、届ける人、使う人の協力を経て、地域の活力となっていくのです。

bank batonは銀行系地方創生メディアとして、地域と人と企業を結び銀行ならではの視点で、地域の魅力とそれを支える人々のストーリーを紹介していきます。



地方創生なら私たちに
ご相談ください！



PROFILE

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ

左からFFGビジネスコンサルティング 瓦林副部長
福岡銀行 地域共創部 地方創生推進室 今泉室長、藤永副調査役